

第54回理論応用力学講演会 日程表

	[A会場] 1階・講堂	[B会場] 2階・大会議室	[C会場] 5階・第3部会議室	[D会場] 6階・第4部会議室	[E会場] 6階・第5部会議室	[F会場] 6階・第6部会議室	[G会場] 6階・第7部会議室	
1 月 25 日 (火)	9:00-10:30 OS10-1(6) 構造同定1 【論文番号 1A01-1A06】	9:15-10:30 OS5-1(5) 機械工学における計算力学の拡がり1 【論文番号 1B01-1B05】	9:30-10:30 OS6-1(4) 金融工学の新展開1 【論文番号 1C01-1C04】	9:00-10:15 OS12(5) ナノテクと数理の融合 【論文番号 1D01-1D05】	9:30-10:30 OS24-1(4) フェーズフィールド法の新展開1 【論文番号 1E01-1E04】	9:15-10:30 OS20-1(5) 先端機能材料・構造システムのメゾメカニクス1 【論文番号 1F01-1F05】	9:30-10:30 GS(4) 固体力学1 【論文番号 1G01-1G04】	
	10:30(一部会場では10:15)-10:45 休憩							
	10:45-12:00 OS10-2(5) 構造同定2 【論文番号 1A07-1A11】	10:45-12:00 OS5-2(5) 機械工学における計算力学の拡がり2 【論文番号 1B06-1B10】	10:45-12:00 OS6-2(5) 金融工学の新展開2 【論文番号 1C05-1C09】	10:45-11:45 OS21-1(4) 大気と海洋の流体力学1 【論文番号 1D06-1D09】	10:45-12:00 OS24-2(5) フェーズフィールド法の新展開2 【論文番号 1E05-1E09】	10:45-12:00 OS20-2(5) 先端機能材料・構造システムのメゾメカニクス2 【論文番号 1F05-1F10】	10:45-11:45 GS(4) 固体力学2 【論文番号 1G05-1G08】	
	12:00(一部会場では11:45)-13:00 昼食							
13:00-13:15【講堂】挨拶 日本学術会議メカニクス・構造研究連絡委員会 理論・応用力学専門委員会委員長 上谷 宏二 第54回理論応用力学講演会運営委員長 矢富盟祥								
13:15-14:15【講堂】特別講演1 弾塑性構成式の歴史と今後の展望 橋口公一(九州大学)					【講演番号 PL1】			
14:15-14:30 休憩								
14:30-17:00【2階・大会議室】 パネルディスカッション(PD1) 西岸域における海流の変動力学 モデレータ:柳 哲雄(九大応力研) 【講演番号 PD11-PD14】				14:30-17:00【1階・講堂】 パネルディスカッション(PD2) これからの計算プラットフォーム モデレータ:姫野龍太郎(理研) 【講演番号 PD21-PD24】				
1 月 26 日 (水)	9:00-10:30 OS1-1([1]+4) 多相流のマルチスケールダイナミクス1 【論文番号 2A01-2A05】	9:00-10:30 OS8-1(6) 流体問題に関わる数値解析手法の発展1 【論文番号 2B01-2B06】	9:15-10:30 OS23-1(5) 固体の破壊現象1 【論文番号 2C01-2C05】	9:15-10:30 OS21-2(5) 大気と海洋の流体力学2 【論文番号 2D01-2D05】	9:30-10:30 OS15-1(4) 結晶塑性論の新展開1 【論文番号 2E01-2E04】	9:00-10:45 GS(7) 固体動力学 【論文番号 2F01-2F07】	9:15-10:15 GS(4) 固体流体連成問題 【論文番号 2G01-2G04】	
	10:30-10:45 休憩							10:15-10:30 休憩
	10:45-11:45 OS1-2(4) 多相流のマルチスケールダイナミクス2 【論文番号 2A06-2A09】	10:45-12:15 OS8-2(6) 流体問題に関わる数値解析手法の発展2 【論文番号 2B07-2B12】	10:45-12:00 OS23-2(5) 固体の破壊現象2 【論文番号 2C06-2C10】	10:45-12:00 OS21-3(5) 大気と海洋の流体力学3 【論文番号 2D06-2D10】	10:45-12:00 OS15-2(5) 結晶塑性論の新展開2 【論文番号 2E05-2E09】	10:45-11:00 休憩 11:00-12:15 GS(5) 数値解析・一般 【論文番号 2F08-2F12】	10:30-12:15 GS(7) 音響・流体 【論文番号 2G05-2G11】	
	12:15(一部会場では11:45および12:00)-13:15 昼食							
	13:15-14:15【講堂】特別講演2 地震動を非定常確率過程としてモデル化するための課題と新しい試み —時間周波数解析によるモデル化とランダム振動解析への応用— 佐藤忠信(京都大学)					【講演番号 PL2】		
14:15-14:30 休憩								
14:30-17:30【1階・講堂】 パネルディスカッション(PD3) 多相系流体の凝集構造とレオロジー モデレータ:増子 徹(山形大) 【講演番号 PD31-PD35】				14:30-17:00【2階・大会議室】 パネルディスカッション(PD4) 防災・危機管理の計算力学 モデレータ:榎山和男(中央大) 【講演番号 PD41-PD46】				
1 月 27 日 (木)	9:00-10:30 OS17-1(6) 複雑流体の構造とレオロジー1 【論文番号 3A01-3A06】	9:00-10:30 OS3-1(6) ブラフな物体の空力関連問題1 【論文番号 3B01-3B06】	9:00-10:15 OS23-3(5) 固体の破壊現象3 【論文番号 3C01-3C05】	9:00-10:45 OS18(7) 交通・物流シミュレーション 【論文番号 3D01-3D07】	9:00-10:45 OS14(7) 構造物の最適設計・逆問題 【論文番号 3E01-3E07】	9:00-10:45 GS(7) 計算力学 【論文番号 3F01-3F07】	9:00-10:45 OS16(7) Eulerian/Fictitious/extended FEM 【論文番号 3G01-3G07】	
	10:30-10:45 休憩		10:30-12:15 OS22-1(7)					
	10:45-12:15 OS17-2(6) 複雑流体の構造とレオロジー2 【論文番号 3A07-3A12】	10:45-12:15 OS3-2(6) ブラフな物体の空力関連問題2 【論文番号 3B07-3B12】	不連続性体の計算力学1 【論文番号 3C06-3C12】	10:45-11:00 休憩				
	11:00-12:00 OS4-1(4) 渦運動の多様性1 【論文番号 3D08-3D11】	11:00-12:15 OS7-1(5) 逆問題・非適切問題の解析手法の確立1 【論文番号 3E08-3E12】		11:00-12:00 OS13-1(4) 構造物の制振(震)・免震1 【論文番号 3F08-3F11】		11:00-12:15 OS11-1(5) 移動境界流れの力学1 【論文番号 3G08-3G12】		
	12:15(一部会場では12:00)-13:15 昼食							
13:15-14:15【講堂】特別講演3 シミュレーションベースの船型設計 日野孝則(海上技術安全研究所)					【講演番号 PL3】			
14:15-14:30 休憩								
14:30-15:45 OS17-3(5) 複雑流体の構造とレオロジー3 【論文番号 3A13-3A17】	14:30-15:45 OS3-3(5) ブラフな物体の空力関連問題3 【論文番号 3B13-3B17】	14:30-15:30 OS22-2(4) 不連続性体の計算力学2 【論文番号 3C13-3C16】	14:30-15:45 OS4-2(5) 渦運動の多様性2 【論文番号 3D12-3D16】	14:30-15:45 OS7-2(5) 逆問題・非適切問題の解析手法の確立2 【論文番号 3E13-3E17】	14:30-15:30 OS13-2(4) 構造物の制振(震)・免震2 【論文番号 3F12-3F15】	14:30-15:45 OS11-2(5) 移動境界流れの力学2 【論文番号 3G13-3G17】		
15:45(一部会場では15:30)-16:00 休憩								
16:00-17:15 OS17-4(5) 複雑流体の構造とレオロジー4 【論文番号 3A18-3A22】	16:00-17:00 OS3-4(4) ブラフな物体の空力関連問題4 【論文番号 3B18-3B21】	16:00-16:45 OS22-3(3) 不連続性体の計算力学3 【論文番号 3C17-3C19】	16:00-17:00 OS4-3(4) 渦運動の多様性3 【論文番号 3D17-3D20】	16:00-17:00 OS7-3(4) 逆問題・非適切問題の解析手法の確立3 【論文番号 3E18-3E21】	16:00-17:00 OS13-3(4) 構造物の制振(震)・免震3 【論文番号 3F16-3F19】	16:00-17:00 OS11-3(3) 移動境界流れの力学3 【論文番号 3G18-3G21】		

注1:()内数字は講演数,[]内数字は基調講演数。

注2:発表時間は一講演15分(討論を含む)。ただし基調講演は30分(討論を含む)。

注3:GSは一般セッション。